

子どもの発達、忘れられた日本人

1. 子どもと博物館

1) 子ども博物館

チルドレンズ・ミュージアム（子どもの博物館）

ハンズオン展示

2) 教育博物館（現：国立科学博物館）

学校付属の博物館

棚橋源太郎の展示方法

3) 子ども向けの好奇心、関心事のちがひ、獲得した知識の量

集中持続時間、理解可能事項

身体的大きさ、力の強さ

感覚神経・運動神経の発達度

日常世界の不自由さ

2. 子どもの発達と学習理論、教育実践

1) ピアジェ（Jean Piaget）の認知発達理論

2) 系統主義（科学主義）と経験主義（児童中心主義、生活主義）

3) 「大正新教育」

作文、自由画（写生画・想像画）、選評と掲載

唱歌、童謡、わらべ歌、児童向け内容

4) 「子ども」の誕生

フィリップ・アリエス1980『<子供>の誕生』（Philippe Ariés 1960）

3. 忘れられた日本人

1) 柳田国男

2) 宮本常一

4. 受ける、受け入れられる活動の基礎

*当日配付資料があります。